

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」など「○○の秋」と表現される事が多い季節になったが、コロナ感染症情報が続く

中で興味をかきたてる気持ちにさせてくれない日々が続く。

「やる気が出る脳」

著者の脳内医・加藤俊徳さんはモチベーションを上げるには脳に強い刺激が必要だという。刺激の種類は、さまざまあるが好きなスポーツ選手の活躍などのリアルの方が脳は活発に反応すると。大リーグで活躍する大谷翔平選手の成績が気になり、大谷選手に関連するテレビ番組を録画して一喜一憂する毎日。そのためか脳が活発に反応して、やる気が増大する。

夜空が一年で最も澄

んで美しい月を鑑賞しなくなる時期だが曇天が続き、「あした天気になあれ」と少年時代に体験した片方の靴を飛ばしたい気持ちになってしまう。靴の表は晴れ、裏返れば雨だが、なぜか裏返る事が

## 秋の月を楽しもう

多くて、表になるまで何度も挑戦した記憶を思い出す。

10日の十五夜「中秋の名月」、その夜は久しぶりの月の鑑賞ができた。月の満ち欠けの姿に「十六夜(いざよい)の月」「立待月(たちまちづき)」「居待月

(いまちづき)」など日1日と名前が付いているので秋の月を楽しみたいものだ。

8月30日から3日間、大学女子ソフトボール大会第14回白馬カップが開催された。東北からは仙台大学、

中国地区からは美作大学など18大学のチームが参戦して熱戦が繰り広げられた。

この大会から長く日本ソフトボールリーグに参戦している戸田中央メディカルケアグループが特別協賛で支援をした。1都4県下

に29の病院と6つの老人保健施設のほか、特別養護老人ホーム、クリニックなど120カ所の関連事業所を展開し、総勢1万5663

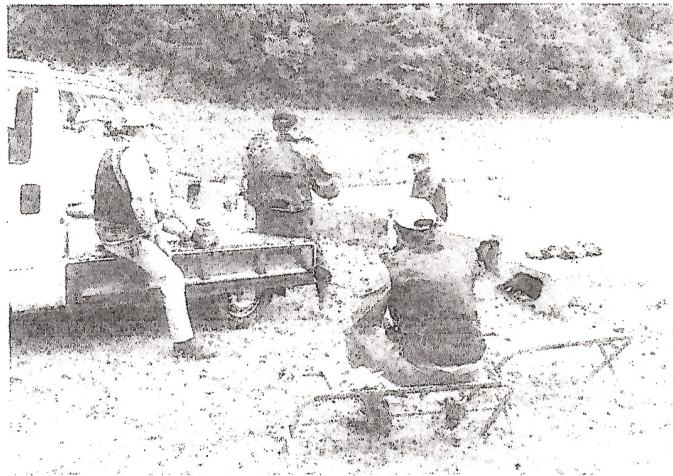
人の職員が働いている医療機関だ。既に白馬カップに参戦した選手も入社して活躍しており、ソフトボール競技に意欲ある選手の受け入れ先としても大きな期待を抱かせてくれる。

最終日の第1試合の途中に豪雨により大会は終了したが、大勢の参加選手がすぶぬれになりながら撤収作業に積極的に協力する姿に、温もりある手作りの

大会を心掛けている関係者に来年も頑張ろうとの強い気持ちを抱かせてくれる。17日から愛知県で開催される

全日本大学女子選手権に参戦するチームの活躍を期待したい。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



白馬カップを支える地元スタッフに感謝だ